



LEICA SL2/SL2-S

ファームウェアアップデート

ファームウェア

| カメラ名 | ファームウェアバージョン |
|-------------|--------------|
| Leica SL2 | 6.0.0 |
| Leica SL2-S | 6.0.0 |

NEW

- ・ **遠近補正**機能を使つての連写撮影
SL2では**2 fps**、**6 fps**、SL2-Sでは**2 fps**、**5 fps**での撮影が可能
- ・ ホワイトバランスの**オートISO**と**オート**設定にロック機能が追加
これにより、動画撮影中、ISO値やオートホワイトバランス設定は、録画を停止するかメニュー設定で変更するまで変更されません。

拡張機能

- ・ **フラッシュ設定**メニューに新しいサブメニュー項目**フラッシュモード**を追加
- ・ **EVF使用時にタッチAF**メニューに新しいサブメニュー項目**AFクイック設定のみ**を追加
この機能を選択すると、タッチAFモード時に誤操作によるAFフレームの移動を防ぎつつ、AFクイックメニューのみを使用することができます。
- ・ **お気に入り**メニューに登録可能な機能の選択肢が拡張
- ・ サムホイール:ファンクションボタンとして機能の割り当てが可能に
- ・ ジョイスティック:割り当て可能な機能の選択肢が拡張

改善機能

- GPSによる位置情報の記録の精度が大幅に向上
- 再生メニュー:オプション全コマ消去をレーティングなしを消去に変更
- ドライブモードメニューの連続撮影項目の名前を変更
- セルフタイマーがメインメニュー項目となり、他の撮影モードと合わせて使用できるように
- ファームウェアの不具合を修正



取扱説明書(詳細編)は以下のURLからダウンロードできます。

<http://jp.leica-camera.com/Service-Support/Support/Downloads>

取扱説明書(詳細編)の冊子を無料でお送りします。ご希望の方は以下のURLからご注文ください。

www.order-instructions.leica-camera.com

ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。また、アプリ「Leica FOTOS」のユーザーは、ファームウェアのアップデート情報をアプリ内で自動的に受け取ることができます。

ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- 案にアプリ「Leica FOTOS」から
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

- ▶ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
 - ・ 現在のファームウェアバージョンが表示されます。



ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、以下のサイトからご覧いただけます。

<https://club.leica-camera.com>

ファームウェアをアップデートする

ファームウェアアップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- ・ カメラの電源を切らない。
- ・ メモリーカードを取り出さない。
- ・ バッテリーを取り出さない。
- ・ レンズを取り外さない。

メモ

- ・ バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- ・ **カメラ情報**のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

使用前の準備

- ▶ バッテリーを満充電し、カメラに入れる。
- ▶ 2枚目のメモリーカードが挿入されている場合は、取り出す。
- ▶ メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。
 - ・メモリーカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。
(注意: データ消失! フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)
- ▶ 最新のファームウェアをダウンロードする。
- ▶ メモリーカードに保存する。
 - ・ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。
- ▶ メモリーカードをカメラに挿入する。
- ▶ カメラの電源を入れる。

カメラのファームウェアをアップデートする

- ▶ 準備する。
- ▶ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
- ▶ **Camera Firmware Version**を選択する。
- ▶ **アップデートを開始**を選択する。
 - ・アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- ▶ バージョン情報を確認する。
- ▶ **はい**を選択する。
 - ・**プロファイル情報をSDカードに記録しますか?**というメッセージが表示されます。
- ▶ **はい**または**いいえ**を選択する。
 - ・アップデートが自動的に開始します。
 - ・処理中は、LEDランプ(下)が点滅します。
 - ・正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- ▶ カメラの電源を入れなおす。

メモ

- ・再起動後には、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。

レンズのファームウェアをアップデートする

ファームウェアのアップデートは、ライカSLレンズだけでなく、Lマウントアライアンスのすべてのレンズに行うことができます。

通常、カメラの最新バージョンのファームウェアとともにレンズ ファームウェアも同時にインストールされるため、手動で行う必要はありません。ファームウェアのアップデート中に装着されているSLレンズのファームウェアが自動的にアップデートされます。レンズを交換した際にアップデートが必要な場合は、カメラにメッセージが表示されます。

カメラのファームウェアアップデートに関する注意事項は、このファームウェアアップデート時にも適用されます。

- ▶ 準備する。
- ▶ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
- ▶ **Lens Firmware Version**を選択する。
- ▶ **アップデートを開始**を選択する。
 - ・ アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- ▶ バージョン情報を確認する。
- ▶ **はい**を選択する。
 - ・ アップデートが自動的に開始します。
 - ・ 処理中は、LEDランプ(下)が点滅します。
 - ・ 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- ▶ カメラの電源を入れなおす。

フラッシュモード

以下の3つのモードが使用できます。

- オート
- マニュアル
- 長時間露光

⚡A オート発光

被写体が暗いときに自動でフラッシュを発光させるモードです(フラッシュのポップアップは手動で行います)。光量が少ない場合に自動発光して露光時間を短くし、ブレを防ぎます。

⚡ 強制発光

逆光時にメインの被写体が画面の一部しか占めていなかったり、陰になっている場合や、直射日光下などでコントラストを抑えたい場合(日中シンクロ)に使用します。強制発光がオンになっているときは、周囲の明るさにかかわらず撮影ごとに発光します。発光量は測定された周囲の明るさにより異なり、暗い場所ではオートモードと同じですが、明るくなるほど少なくなります。明るい場所では、陰になっている前景や逆光の被写体に補助光としてフラッシュ光を当てて、明るさのバランスを整えて撮影できます。

⚡Ⓞ 遅いシャッタースピード使用時のオート発光(スローシンクロ)

暗い背景を実際よりも明るく描写し、同時に前景もフラッシュ光で明るく撮影したい場合に役立ちます。

画像がブレるのを防ぐため他のフラッシュモードでは1/30秒より遅いシャッタースピードには設定されません。そのため、フラッシュ光が届かない背景は露出アンダーになりがちです。スローシンクロモードでは、シャッタースピードが30秒までの範囲で設定されるため、背景も明るく撮影できます。

- ▶ メインメニューで**フラッシュ設定**を選択する。
- ▶ **フラッシュモード**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
 - 選択したフラッシュモードのアイコンがモニターに表示されます。

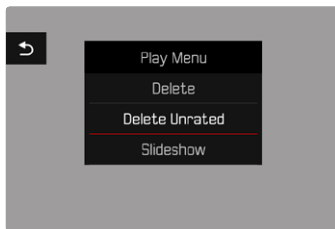


再生メニュー

画像を削除する

マークされていない画像を削除する

- ▶ **MENU** ボタンを押す。
- ▶ 再生メニューで「レーティングなしを消去」を選択する。



- 「レーティングされていない画像を 全て消去しますか?」というメッセージが表示されます。
- ▶ はいを選択する。
 - 処理中はLEDが点滅します。処理には数秒程度かかることがあります。削除後はマークされた次の画像がモニターに表示されます。表示できる画像がない場合は、「再生可能な画像がありません」というメッセージが表示されます。

メモ

- 削除が完了すると、「再生可能な画像がありません」というメッセージが表示されます。画像が削除できなかった場合、再生していた撮影画像が再度表示されます。レーティングされていない画像を消去する際、枚数によっては時間がかかることがあります。その場合、削除中にメッセージが表示されます。

ISO感度 (動画モード)

オート

周囲の明るさや、シャッタースピードと絞り値の組み合わせに応じて自動でISO感度を設定できる機能です。この機能を絞り優先AEモードと併用することで自動露出制御範囲を広げることができます。オートISO設定も1/2 EVまたは1/3 EVステップで調整することができます。ステップ幅はメニュー項目「EVステップ値」で設定します。

- ▶ メインメニューで「ISO」を選択する。
- ▶ 「オートISO」を選択する。

メモ

- ・ この機能はCineモードでは使用できません。

ISO感度の設定範囲を制限する

「最大ISO感度」を設定し、ISO感度の自動調整範囲を制限することができます。また、同時に最長シャッタースピードを設定することもできます。最大シャッタースピードの設定範囲は、1/30～1/2000秒です。

最大ISO感度を制限する

ISO 100以上の値に設定できます。

初期設定: 6400

- ▶ メインメニューで「オートISO設定」を選択する。
- ▶ 「最大ISO」を選択する。
- ▶ 希望する値を選択する。

最長シャッタースピードを制限する

初期設定: オート

- ▶ メインメニューで「オートISO設定」を選択する。
- ▶ 「シャッタースピード制限」を選択する。
- ▶ 希望する値を選択する。
(Auto、1/2000、1/1000、1/500、1/250、1/125、1/60、1/30)

ISO値をロックする

初期設定: オフ

- ▶ メインメニューで「ISO」を選択する。
- ▶ 「オートISO (ロック)」を選択する。

メモ

- ・ 動画撮影中にFNボタンもしくはサムホイールを使用しISO値を変更することができます。
- ・ 「オートISO」から「オートISO (ロック)」または他の固定ISO値への切り換えが可能です。動画撮影中に固定値から「オートISO (ロック)」への切り換えはできません。このような場合は「オートISO (ロック)」はグレーで表示され、設定ができません。

ISO感度自動設定

サムホイールまたはフロントダイヤルに機能を割り当てることで、ISOをリアルタイムでマニュアル調整することができます。S、AまたはMモードでは初期設定で本機能が割り当てられています。機能を割り当てたダイヤルを回して、設定します。選択可能なISO値は、メニュー項目「ISO」にて設定可能なすべての値です。「オートISO」にも設定可能です。

フローティングISO

本機能はオートISO機能の1種です。多くのズームレンズでは、焦点距離が変わると取り込める光の量が変わります。そのような場合でもフローティングISOを使用すると、オート露出設定時、絞りとシャッタースピードの設定は一定のまま、感度を段階的に微調整することで露出を調整します。特に動画撮影時、明るさが突然変わるのを防ぐことができるので便利です。

初期設定：**オン**

- ▶ メインメニューで**フローティングISO**を選択する。
- ▶ **オン**を選択する。

メモ

- **フローティングISO**は設定可能なISO感度の範囲内で使用できます。範囲を超える場合、**フローティングISO**警告アイコンが表示されます。
- この機能はCineモードでは使用できません。
- **オートISO (ロック)**に設定された場合には、撮影中は**フローティングISO**がオフになり、撮影中のISO値は固定されます。

遠近補正

この機能をオンにすると、建築物のひずみなどをより自然に補正することができま。カメラが台形ひずみを自動的に認知し、ガイド線が表示されます。

この機能は撮影中のカメラ位置を内部センサーが自動認識し、使用レンズとカメラの傾斜角度に基づいて、構図と必要な補正を導き出します。被写体のラインは関係しません。そのため被写体内容に基づいた画像加工による自動遠近補正機能とは異なります。

機能は記録形式(JPGまたはDNG)により異なります。JPG画像では補正された画像のみが保存されます。DNG画像ではカメラが認識した情報はメタデータに記録されます。Adobe Photoshop Lightroom*またはAdobe Photoshop*を使用すると補正が実行されます。

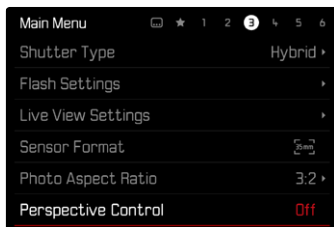
初期設定: **オフ**

メモ

- 傾斜度が大きければ大きいほど必要な補正規模が大きくなります。その場合は自動で補正が出来ない、または部分的にしか行われぬ可能性あります。そのため傾斜度が大きい画像はDNG画像として保存し、後に画像加工プログラムにて補正を行うことをおすすめします。
- 本機能を使用中(オンに設定中)は撮影補助表示機能**水準器**、**ヒストグラム**、**グリッド**と**オートレビュー**機能が使用できません。
- 本機能は**Multi-Shot**撮影時には使用できません。
- 連続撮影はSL2では**2 fps**、**6 fps**、SL2-Sでは**2 fps**、**5 fps**での撮影が可能です。
- 補正情報は常に(機能がオフの場合も)DNG画像のメタデータに記録されます。本機能がオンの場合は、対応する画像編集プログラムでの補正を推奨する特別なタグが追加されます。

▶ メインメニューで**遠近補正**を選択する。

▶ **オン**を選択する。



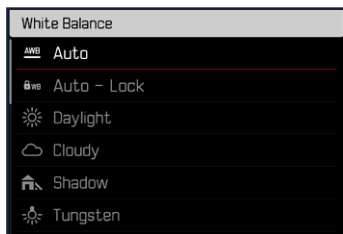
ホワイトバランス (動画モード)

ホワイトバランスは、光源に応じて自然な色合いで撮影できるようにするためのものです。被写体の中の特定の色を白く写し出すように設定し、この白に基づいて色合いを調整します。

以下の設定から選択できます：

- オート
- ロック機能付きオート
- プリセット
- マニュアル設定
- 色温度を設定する

初期設定：**オート**



メモ

- ・ 動画撮影中にFNボタンとサムホイールを使用して、ホワイトバランスを変更することができます。
- ・ **オート**から**オート (ロック)**または他の固定色温度への切り換えが可能ですが、動画撮影中に固定値から**オート**への切り換えはできません。このような場合は**オート (ロック)**はグレーで表示され、設定ができません。

HDMI出力時のホワイトバランスに関する情報

- ・ HDMI-RAW出力時にはホワイトバランスのオート設定は使用できません。オートに設定中にHDMI-RAW出力する場合は自動的に**晴天**に切り換わります。

タッチAF (EVFモード)

誤操作によりAFフレームが移動するのを防ぐため、電子ビューファインダー (EVF) 使用時はタッチAFを無効にすることができます。ただし、EVF 使用時でも同様にタッチAFを使用することもできます。

初期設定: **オフ**

- ▶ メインメニューで**カメラ設定**を選択する。
- ▶ EVF使用時に**タッチAF**を選択する。
- ▶ **オン**または**AFクイック設定のみ**または**オフ**を選択する。

| EVF使用時にタッチAF | 機能 |
|-------------------|--|
| オン | 長押し: AFフレームの大きさは、3段階で調整 二度押し: 測距点/AFフレームをモニターの中央に移動 |
| AFクイック設定のみ | 長押し: AFフレームの大きさは、3段階で調整 |
| オフ | 二度押し: 測距点/AFフレームをモニターの中央に移動 |

メモ

- ・ この設定は静止画撮影と動画撮影の両モードで有効となります。それぞれのモードに異なった設定はできません。

ジョイスティックの機能 (撮影モード時)

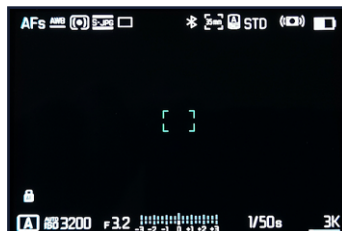
静止画撮影モード時に、ジョイスティックには様々な機能を割り当てることができます。AFモードとMFモードのそれぞれで、個別に設定します。

AFモード

- ▶ メインメニューで**ショートカット設定**を選択する。
- ▶ **ジョイスティック**を選択する。
- ▶ **AFモード**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(**AF-L**、**AE-L**、**AF-L + AE-L**)

MFモード

- ▶ メインメニューで**ショートカット設定**を選択する。
- ▶ **ジョイスティック**を選択する。
- ▶ **MFモード**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(**AFs**、**AFs + AE-L**、**AFc**、**AFc + AE-L**、**AE-L**)



ボタンロック

- ▶ メインメニューでショートカット設定を選択する。
- ▶ ジョイスティックを選択する。
- ▶ ボタンロックを選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
 - 二度押し
 - ジョイスティックを半押しすると、AF-LまたはAE-LまたはAF-L + AE-Lが起動します。ピントが合うとフレームが緑色で点灯し、AE-Lに設定中はアイコンがフッターに表示されます。
 - ジョイスティックを全押しするまで測定内容が保存されます。
 - 長押し
 - ジョイスティックを長押し中はAF-L、AE-LまたはAF-L + AE-Lの設定内容が保存されます。
 - 手を離すとロックが解除されます。